

質問順位	9	質問者	小野保之議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. ワンストップ窓口について	<p>1. 先般、0歳から18歳までの子ども一貫教育について、会派の行政視察を行い、新潟県糸魚川市を訪問しました。担当課長から直接説明を受け、平成21年度に子ども一貫教育方針を策定し、校舎一体型の小中一貫教育校や中高一貫教育ではなく、0歳から18歳まで一貫した教育方針の下、市民総ぐるみで子育てを行っている。</p> <p>また、平成22年度から庁内の機構改革で子育て教育に関する行政窓口を一本化し、「こども教育課」を教育委員会内に新設、その後子ども一貫教育基本計画の策定、見直し等を進め、現在に至っている。そこで、滝川市の総合計画においては、未来へはばたく子どもたちを育むまちづくりを唱えております。現行の組織では子育て世代に対する所管事務は、子育て応援課や保健センターで担っております。糸魚川市においては、妊娠、出生、子育て、食の教育を一貫して取り組んでいるようです。ワンストップ窓口を推進するに当たり、この事業は組織の見直しを含め一考を要するものと考えますが、市長の見解を伺います。</p>			
2. 防災対策	1. 防災対策について	<p>1. 今年は、道内では大きな災害もなく安堵しています。災害復旧も遅れながらも進んでいます。さきに総務省消防庁は、ヘリコプターが飛べない悪天候時にも災害現場を撮影できる防水性の高い小型無人飛行機「ドローン」を10政令都市に配備する方針との報道がありました。あらゆる災害や事故等で、収集した現場情報を迅速に把握し活用でき、初動においても速やかに対応でき、水害時の孤立や道路状況判断が容易になると思う。市として導入を考えるべきと思うが、お考えを伺います。</p>			

質問順位	9	質問者	小野保之議員		
件名		項目		要旨	メモ
3. 農業行政		1. 滝川産米の販路拡大について		<p>1. 今回の会派行政視察先の京都市の榊京山では、全国各地の米を秋の収穫と同時に、吟味し厳選された良質米のみを仕入れ、高精度の精米を通して京都市内を中心に販売している。とりわけこの会社は、量的にはまだまだの感がありますが、JAたきかわを通して芦別産米を購入しています。当市としてもJAたきかわのバックアップ体制を整えて、JAたきかわと連携して、たきかわ産米の販路拡大に努めていくべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	
4. 教育行政		1. パークゴルフ場について		<p>1. 7月にグランドオープンし、気にしていた水害もなくクローズになりました。本年度の経過状況、課題等、総合してお聞きします。</p> <p>まず、利用者数は、当初の推計からみると、オープンが遅れた分を差し引きするとおおよそ推計通りです。市内の利用者は5月～6月の1日平均が150人、7月～10月は約93人。ところが市外の利用者は7月～10月が倍になっている。市内利用者はほかに流れたと思うが、要因は何か。シーズン券販売枚数は、市内と市外分、ファミリー層や施設のレクリエーション、イベント等開催数はそれぞれのくらいか。一部で被害があった車上荒らし等の防犯対策はどうなっているのか伺います。</p>	